

HY 仲宗根泉 PLAYS MOTIF XS

ミュージックシーンで圧倒的な人気を得ている沖縄出身のロックバンドHY(エイチワイ)。2008年4月に5枚目のアルバム「HeartY」をリリースし、現在「PACHINAI×32 BAMBICASUNDOH TOUR '08」で日本全国ツアー中だが、ボーカル&キーボードの仲宗根泉に、愛用のMOTIF XSについてアンケートに答えてもらった。



■ヤマハキーボードとの出会いはいつですか。

- 19歳の頃です。
- ヤマハの印象は? 何か思い出はありますか?

●音が好き!!
■MOTIF XSで気に入っている点は? 例えばライブでいい点

●液晶が見やすいので、とてもGOODです!

■例えば気に入っている音色

●001番のピアノの音

■例えば操作性や機能

●MOTIF XS7のコンパクトで、高性能なところ

■レコーディングの時にはどんな使い方をしますか?

●音が良いので、軽い感じの音がほしい時は7を、本物のグランドピアノのような重みを出したい時には、8と使い分けています。

■仲宗根さんならではの使い方やコツ

●2台を使い分けているところかな...

■今回のツアーでは移動先のホテルで「MM6」を使用されているようですが、使ってみていかがでしょうか?(他メンバーの方々の感想もあれば!!)

●すごく使いやすくて、録音が簡単にできて、小さいのに多彩な音やリズムがあるのもお気に入り♪

■どの様な使い方ですか

●作曲で重宝します。

●僕も使っていますよ!(Dr.名嘉俊)

■使い勝手は良いですか?...軽いのはGood?

●見た目より軽いので、楽に持ち運びできて最高です♪

●何より、持ち運び易さと、多機能なところが最高ですね。一台でいろいろできる!!(Dr.名嘉俊)



■作曲はどんなふうにするのでしょうか。シンセサイザーは作曲で使用しますか?

●思うままに(笑)シンセも使用します。いろんな音を使えるから、作曲中に新しい発見もあって楽しいです。

■HYのサウンドの特徴はどんなところでしょうか。

●さわやかさ、激しさ、楽しい感じ、悲しい感じ...。様々な色のサウンドがあるところかな...

■ロックバンドのキーボーディストとして気をつけていることはありますか。またアマチュアのロックバンドにいるキーボーディストにアドバイスをいただけますか。

●大事にしているのは、感情をどう音に表現するか?です。曲に合わせて、指のタッチや「7」「8」の使い分けで音の表情を出すという感じ。なので、アドバイスは...感情を音で伝え、楽しむ事が一番大事!という事です。

■HYとして、めざしていることを教えてください。

●この先もずっと5人で音楽を続けて行く事です。当たり前の事でも、決して簡単な事ではありません。

■仲宗根さんが個人的に目指していることは?

●HYメンバーがそれぞれ、自分が表現したい曲を次々として出しているから、私もどんどん負けないように自分を出して行って、HYというバンドを色々な人に知ってもらえるかな...

■最後に読者に一言メッセージをお願いします。

●HYも、本当に音楽が好きで5人が集まってできたバンドで、仲の良さもあり、結成してもうすぐで10年になります。その月日の中、トントン進んできたわけでもなく、当然大変な事もたくさんありましたし、これからもあるでしょう。学んだのは、夢をはっきり持ってあきらめないで努力する事。音楽が好きなら同士、一緒にがんばって行きましょう!

■今後のスケジュール、告知などをお教えてください。

●8月1日に私の2冊目となる詩集が発売されます。その詩集の中に、1曲だけ新曲が封入されるのですが、それはMM6を使って作った曲です。是非聴いてみてください!

Information

待望の仲宗根泉第2弾詩集が8月1日ついに発売!!!

【バイバイ】【出版社】ディスカヴァー

第一弾詩集「あなたへ」は、仲宗根泉が中学生時代から書きためた詩によって構成され、その赤々たる想いが25万人の心をつかんだ。今回、満を持して発売となる第2弾「バイバイ」は、20代をむかえ少し大人になった彼女の恋愛模様、葛藤がつつられている。前作同様、本文の写真はすべて仲宗根泉の撮り下ろし。仲宗根泉(HY)の新曲「バイバイ」収録のCDを封入。

HY夏フェス出演決定!!!

●MONSTER baSH2008

【出演日程】2008年8月24日(日)

【会場】国営讃岐まんのう公園内 芝生広場

★HYアリーナツアー追加公演も決定!!

HY PACHINAI×32 BAMBICASUNDOH TOUR '08をステップに、HYメンバーの更なる挑戦が始まる...

※詳しくは、HY MODEでチェック!!

<http://www.hymode.net/>

Instruments



MOTIF XS8

メーカー希望小売価格(税込)378,000円
バランスド・ハンマー・鍵盤採用の88鍵モデル

MOTIF XS7

メーカー希望小売価格(税込)299,250円
FSX鍵盤採用の76鍵モデル



MM6

オープンブレイス
軽量(5kg)コンパクトながら
高音質を実現したモデル

MESSAGE FROM ABROAD



Bill Kelliher
Plays SG1000 Custom

my first 'real' guitar was a yamaha SG. i loved that guitar but i had to sell it for rent money. but these days i'm back to my roots. i LOVE my yamaha SG 1000 silverburst and sunburst. one of the best playing and sounding guitars i own, it has a certain gritty attack that i really like. great guitar all the way 'round...
Bill Kelliher

僕が初めて手にした「本物」のギターがヤマハのSGだった。お気に入りのギターだったけど、家賃を払う為に売りに出さねばならなくなっただけで、最近では自分のルーツに戻った。ヤマハSG 1000は、シルバーバーストとサンバーストの二本を持っているけど、どちらも最高に気に入ってるよ。僕が所有しているギターコレクションの中で最も演奏しやすく、良い音で鳴ってくれるギターなんだ。特に僕が好きなザラついた感じのアタックがあるところがいいんだよね。どこをとっても素晴らしいギターの一言に尽きるよ...



Troy Sanders
Plays TRB1005

every country!
every tour!
my yamaha basses deliver!
on tour or in the studio, my yamaha basses punish, batter and destroy!

どんなツアーで、どんな国を訪れようとも、僕のヤマハベースさえあれば安心さ。ライブでもスタジオでも、私のヤマハベースは、聴き手を痛めつけ、打ちのめし、破壊し尽くす「武器」になってくれる。

YAMAHA
Vol.2

Interviews & News of Excellent musicians collaboration with YAMAHA musical instruments products. 2008 August
LM NEWS



「サウンドの中心にある音」
キマグレ
Plays LL36



「RYTHEMを支えるパートナー」

RYTHEM
Plays
LS26 & S90ES



「僕らがバーチを使う理由」
則竹裕之&坂東慧
PLAY Birch Custom Absolute



HY 仲宗根泉
PLAYS MOTIF XS

「“7”と“8”を使い分けるコツ」



「このギターは僕の分身だ」
MIKE STERN
PLAYS Pacifica1511MS

ヤマハ株式会社
発売元: ヤマハ株式会社
LM 営業部 ART グループ
TEL.03-3476-1529

キマグレン Plays LL36



このギターの音は、キマグレンのサウンドの中心です。

2008年2月にメジャーデビューしたISEKIとKUREIのユニット「キマグレン」。音楽活動と並行して逗子海岸で夏限定の「音霊 OTODAMA SEA STUDIO」ライブハウスの経営を行っているという2人に、キマグレンの音楽とライブハウス「音霊」について、ISEKI氏愛用のヤマハのアコースティックギターLL36について、そして「RYTHEM with キマグレン」名義で7月23日に発売されたニューシングル「Love Call」についてインタビューした。

キマグレンの3つのL、 そしてもうひとつのL「LIVE」

■キマグレンは「音霊」がキッカケだと聞いていますが、どうしてライブハウスをはじめたのですか。

KUREI●僕らは13年前に地元の逗子のスィミングスクールで出逢ったんですが、2人とも海が好きで、音楽が好きなんです。でも両方が楽しめる場所がないね、という話になって、じゃあつくろうと。で、音霊というライブハウスをはじめ、ある日ブックキングのワケが空いていたもんだから、ISEKIが当時やっていた「きまぐれ」というユニットで出ちゃえ、ということ。

しかも「きまぐれん」ってミスタイプして、さらにカタカナ変換してしまって、それが今に至ると(笑)。

■ライブハウスとアーティスト活動の両方で忙しくないですか？

KUREI●ご想像の通りです、というかご想像を絶する感じです。音霊がオープンしている66日間のブックキングを本当に2人だけでやっている。

ので。会計から後所への申請まで。でも楽しく頑張りたいと思っています。

■キマグレンには3つのLというキーワードがあると聞きましたが教えてもらえますか？

KUREI●まず最初は、恋愛、家族愛、友情も含めたLOVE。そして生き方、日々の生活のLIFE、そして地元の逗子、音霊のLOCAL。この3つのLなんです。でも実はもう一つ大好きなLがあって、それはLIVE。生きるという意味の「リブ」ですが、読み方を変えれば「ライ

ブ」。僕らが生きる意味はライブなんだな、と最近思っています。

LL36はキマグレンの サウンドの核になってます

■ISEKIさんにうかがいたいんですが、愛用のヤマハLL-36はいかがですか？

ISEKI●音が繊細なのに、すごくハッキリした音なんです。ライブをやっている、前のギターより歌いやすい。ちゃんとミキシングされている音、という感じ。ギターの音がハッキリと聞こえるから、歌もちゃんと聞こえるんです。このギターを手に入れて、改めてキマグレンの音楽にとってアコースティックギターがいかに大切だったかを再確認できました。一音一音がとてもしっかり出るから、すごくいい音に弾くようになりました。だからギターが上手くなったような気がしますね。

KUREI●僕は最初、なかなか周りの音が聴けなかったんですが、最近はISEKIのギターが良く聴こえます。LL36になってすごくいい音になったなって、思いました。溶け込み具合とか音の分厚さとか。LL36はキマグレンの音楽の中で核になっている部分だと思います。

「ZUSHI」はオンタイムの リアルな僕たちそのもの

■ニューアルバム「ZUSHI」を聴かせてもらいましたが、粹にとられない自由な音楽性を感じました。

KUREI●キマグレンは「ポップ」であることを意識してやっています。でも結構自然にやっていて、最初の頃、仕事の合間にISEKIがポロポロギターを弾いている間にできた曲もありますよ。「君を忘れない」という曲です。

ISEKI●いまでもセッションほく作ることもあるけど、お

互いの意見をハッキリいうので、毎回全力投球なんです。今回のアルバムもストックしていた曲じゃなく、いまの自分たちの感情や思いがそのまま出ている曲ばかりです。だからライブで歌うと凄くリアルなんです。オンタイムのものを全部出しているのだから、伝わるものも大きいんじゃないかな、と思っています。

■RYTHEMとのコラボレーション「Love Call」はどんな経緯だったのですか。

KUREI●ラジオの収録で一緒にあったりしているうちに、RYTHEMから「いっしょにやりませんか」と、ラブコールをいただいて。キマグレンとしてはコラボ自体が初めてだったのでとても新鮮でした。僕たち以外の人のコンセプトでやるっていうのもなかったですからね。「Love Call」での僕たちは女の子から見た、ある種理想的な男の子なんですけど、そういうキャラで歌えるかなっていう悩みはありました。でも難しかったからこそ、勉強になって。自分たちのレコーディングにもいい影響がありました。



KUREI

LS26 は暖かい音が出せる、 頑丈で頼れるギターです

■最近ではYUIさんのキーボードとYUKAさんのギターだけでライブをすることが多いそうですね。

YUI●バンドではなく2人だけでライブをやるのは、最初はちょっと不安だったんです。でもギターとキーボード、そして2人の声だけで成り立つ世界がある、って分かって、新発見でした。

■YUKAさんは前からギターを弾いていたんですか。

YUKA●最初は2人ともエレクーンでした。ギターはデビューしてからはじめたんです。3年ぐらい前からかな。ライブで弾きはじめてのは約1年前くらいから。最初は握力もなかったし、指も痛くて大変でした。

■ヤマハのギターを使い始めたキッカケを教えてください。

YUKA●それまで使っていたギターが、ワンマンライブ前日のリハーサル時にギタースタンドから自然に落ちてネックが真っ二つに折れてしまったんです。とってもショックで、これから全国を回るっていう時に、こんな弱っちいギターじゃツアーは回れないな、と思って。それで「頑丈な頼れるギターを」ということで

探して、LS26を紹介してもらいました。LS26はネックも強いし、苛酷なツアーでもビクともしませんね。常に安定したコンディションで弾けるのでとても気に入っています。

■頑丈さ以外ではどんなところが気に入っていますか。

YUKA●私がこだわっていたのは暖かい音が出せること。これは譲れないこだわり。あと女性でも弾きやす



YUKA

ヤマハはRYTHEMのライブには 欠かせない、頼れるパートナー。

YUIとYUKA。中学・高校そして大学生活を同じ学校で過ごしてきたという2人のシンガーソングライター・ユニット「RYTHEM(リズム)」。

RYTHEM Plays LS26 & S90ES

いっちゃいいサイズっていうところもこだわりました。弦も押さえやすいし、もう違うギターは弾けなくなっちゃいました。

■YUIさんからみてYUKAさんのギターは？

YUI●私はアルペジオの音が好きですね。YUKAだな、って思います。人柄が出る感じ。前のギターは繊細で女性的でしたけど、YAMAHAのギターは暖かみがあって、ちょっとだけ男らしい気がします。

ステージではS90ESの「001」番の ピアノの音じゃないとダメ

■YUIさんはいつもS90ESを弾いてるんですか。

YUI●ステージでも家でもS90ESを使っています。楽器屋さんの店頭で試したときにタッチが一番しっくり来て、ピアノの音色も一番好きでした。見た目も赤い色がアクセントになっていて可愛いなと思って。デザイン的にもすごく気に入っています。

■気に入っている音色は？

YUI●アコースティックピアノの音が一番気に入っています。一番ナチュラルな「001」番の音色が好きですね。ライブでもその音じゃないと落ち着かないんです。デモ制作の時にはもうちょっと明るいピアノとか、暗いピアノ音色とか使い分けるんですが、ライブではとにかく「001」でないとダメ。一番信頼できるんです。

■YUKAさんからみてYUIさんのS90ESは？

YUKA●S90ESの音色はYUIの弾き方にあっていると思います。YUIは歌いながら演奏するので、ピアノも歌っている感じが凄くしますね。

■曲作りはどのようにしてますか？

YUI●私、ついこの間SEQUELをインストールしたばかりですが、使いやすいそうだし、とにかく楽器バターのバリエーションは圧倒的に多いですね。

YUKA●SEQUELは日本語なので使いやすいかったです。メカが苦手な人にもお勧めしたいです。

キマグレンとの「Love Call」は 予想を超えた仕上がり

■キマグレンとコラボした「Love Call」という曲について聞かせてください。

YUI●Love Callは女性目線の恋愛の歌だったんですけど、男性にいくら思いを告げてもすれ違えばかりという歌詞で、これをもっとリアルに伝えたくて、男性アーティストとコラボできたらいいなって温めていたんですよ。あるキッカケでキマグレンさんに出逢って、幼なじみで、神奈川でっていうお互いの共通点から話が広がって、で、ラブコールをしたら

受けていただけました。

■レコーディングは楽しかったですか？

YUI●すごく楽しかった。コラボは私たちにとってもリアルだったんですが、予想以上のものができて、本当にキマグレンさんとコラボできて良かったです。

■レコーディングは楽しかったですか？

YUI●すごく楽しかった。コラボは私たちにとってもリアルだったんですが、予想以上のものができて、本当にキマグレンさんとコラボできて良かったです。



YUI

Information

音霊 OTODAMA SEA STUDIO



<http://www.otodama-beach.com/>



1st ALBUM「ZUSHI」
oricon weekly chart初登場1位
(2008/7/28付)
UMCK-1254 2,800円(税込)
debut single「あえないウタ」、2nd single「LIFE」を含む12曲にボーナス・トラック2曲が追加され全14曲収録。

<http://www.universal-music.co.jp/kimaguren/>

Instruments

LL36ARE
メーカー希望小売価格
378,000円(税込)

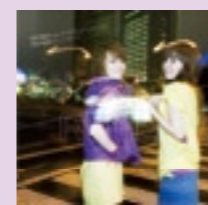
オリジナルジャンボボディが生み出す伝統の「L」サウンド。太くハリのあるサウンドとバランスのとれたトーンは、アルペジオからストローク、フィンガー・スタイルまで幅広く対応。



Information

RYTHEM withキマグレン/
Love Call
RYTHEM/あかりのあかりか
AICL-1953 (初回盤)

RYTHEMライブ
2008年12月14日(日)
渋谷C.C.Lemonホール公演決定!!!
開場17:00 / 開演17:30



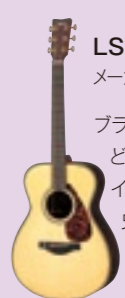
Instruments

MUSIC SYNTHESIZER
S90ES
メーカー希望小売価格
273,000円(税込)

至高の鍵盤タッチと高品位なピアノサウンド。

Steinberg
SEQUEL
オープンブリス
フレーズを貼り付けるだけで簡単に音楽が作れる入門向け音楽ソフト。

SEQUEL



LS26ARE
メーカー希望小売価格 304,500円(税込)
プラス製ベグ、ベッコウ柄ピックガードなど、ピンテージフレアーを溢れるデザイン。スモールサイズボディは、長い歴史を持つフォークタイプのボディにフルサイズボディの深さを持たせることで、小型とは思えない音量を誇る。

NORITAKE & BANDO H PLAY Birch Custom Absolute Nouveau

『則竹裕之×坂東慧』from T-SQUARE SUPER BAND

全く同じドラムで、これだけ違う音が出る。 それもT-SQUARE SUPER BANDの聴き所です。

日本が誇るポップ・インストゥルメンタル・バンド「T-SQUARE」は今年でデビュー30年。5月にはT-SQUARE SUPER BANDとして新旧のメンバーが結集。現在のメンバーに和泉宏隆(P)、田中豊雪(Ba)、則竹裕之(Ds)、須藤満(Ba)、宮崎隆陸(Sax)を加えてデビュー30周年記念アルバム「Wonderful Days」を発売した。また「Wonderful Days」CONCERT TOUR 2008ではこの豪華メンバーでライブを行い、大きな話題を集めている。今回はT-SQUAREを支える新旧2人のドラマー、坂東慧と則竹裕之にインタビューした。



んだよね。

坂東●口径のサイズも全部同じです。たまたまだけけどヘッドまで同じだったりして。

則竹●でも全然違うんだよね、音もセッティングも。セットアップはお客さん側から見るより全然違います。坂東くんは、彼がレギュラーグリップが得意ってこともあって、打面が傾斜しているんです。

坂東●リバウンドが得やすいようにしているんです。

■坂東さんから見て則竹さんのドラムはどんな印象ですか。

坂東●流れるようですね。流れが止まらなくて凄く気持ちいいんですよ。それとチューニングが凄くいい。一個一個がすごく気持ちよく鳴っているんですけど、同時にドラム全体としてまとまりがあって綺麗です。僕なんて



いろんな音が出ちゃうんですけど。則竹●僕から見たら、坂東くんは素晴らしいと思いますね。テクニク的に見て時代の最先端の方法論を取り入れて、どんどんクリエイティブな感じですね。坂東くんの音を聞くと、ああパーチカスタムって、ああいう音もするんだ、って。彼の音は名前通り、バンドウっていう音がするんです。発刺とした音って言うか。外に向かう音です。僕にないものがキラキラ輝いている感じで。ツインドラムをしても「いま坂東くん何やったんだろう!」って思うことがよくあります。

■お二人のツインドラムが聴けるというのも豪華ですよ。則竹●今回坂東くんが作ってくれたドラムデュオの曲があって、2人で合わさって1つのリズムになるところなんか、気持ちいいですよ。ずっとやっていくよ。

坂東●でもここはそう来たか、という新鮮な驚きもありますね。

■先輩を脅かしたりするんですか

則竹●僕なんて驚かされればなしですよ。坂東くんは音楽に面白い流れをバツと提示するのがものすごく上手な



んです。仕掛けていく。つねにアンテナが張られている感じがしますね。

■お互いに似てるな、と思うところもありますか。

坂東●そうですね、手順とか。完璧にシンクロしている時もあります。

パーチカスタムアブソリュートの音とタッチが基準

■お二人ともパーチカスタムアブソリュートを使っていますね。

坂東●僕がドラムレッスンを始めたとき教室にあったのがパーチでできたYD9000でした。ドラムって楽しいって初めて思った小学生のときの音と感触が今でも忘れられないので、今もパーチを使っています。



則竹●僕は高校入学の時にYD9000を買ってもらいました。僕にとってあのタッチと音が最も自然でいい音だったんです。

■パーチの音のよさを言葉で表現すると?

坂東●叩いた後で一瞬沈み込むようなタッチの心地よさ。それから中音域が美味しく出ている感じ。

則竹●僕も同じですね。サブのセットとしてオークカスタムのセットも持っていますが、もっと骨太でストロングな音がして、それも素晴らしい音なんです。でも、自分

の中でドラムのダイナミックレンジのイメージはパーチが基本。そのくらい体に染みこんでいます。

■則竹さんのシグネチャー・スネアについて教えてください。

則竹●素材はパーチです。穴がいっぱい空いてるんですよ。抜けのいい、パーンと鳴る音が出ます。充実した打感、アフタービート、リムショットが味わえます。なおかつ自分で穴を塞いで微妙なバウンスを得るようにも調整できます。バズロールとか、繊細な表現をしたいときには穴をふさいだ方がコントロールでリバウンドがいかせる。T-SQUAREでは全部空けてます。最近クラシックのオケの中で演奏する機会があって、その時は穴を1つだけ残して後は塞いでいました。タッチはずいぶん変わりますよ。パーチそのものの音の暖かさを活かしながら、そういうことができるのはいいと思います。

■坂東さんはDTXTREMEIIIも使っているらしいですね。

坂東●学生時代、家で練習している時からヤマハのDTXを使ってきましたから、自然と使うようになりました。当時から家で音を作りながら、いつかステージでこういう音を使おうなんて思っていたんですよ。DTXTREMEIIIは凄く音が良くなって、もう音が全然違いますね。則竹さんがメインのグループをやっている時は僕がDTXTREMEIIIでパーカッション的なことをやったりします。

則竹●ほんとに、面白い音からパーカッションのリアルな音までDTXTREMEIIIで出してるよね。ぜひそのあたりも、見てほしいと思います。

朝起きて「今日もドラムが叩きたい」と思えるかが重要

■最後にお二人からメッセージをお願いします。

坂東●自分のことを言うと、最近リズムパターンを叩く時キックやスネアよりハイハットの音色の叩き分けに気

■則竹氏のドラムセッティング



本体-Birch Custom Absolute/Nouveau
カラー:アップル・スパークル・フェード
BBD1522
BTT1516
BTT1514
BTT1512U
BTT1510U
BTT1508J
MSD1204(プロトタイプ)
BSD1455HN
DFP9315
FP9310

■坂東氏のドラムセッティング



本体-Birch Custom Absolute/Nouveau
カラー:アンバー・フェード
BBD1522
BTT1516
BTT1514
BTT1512U
BTT1510U
BTT1508J
BSD1204(プロトタイプ)
BSD1455NJR
ASD1455AC
DFP9315
FP9310

を使うようになりました。ハットは開け閉めで音の長さが調節できるので、手に感じる音の長さに気を使っていくと、バンドの中で音の溶け込み方が違うんだなって思うようになりました。みなさんもキックやスネア以上に気をつけてみてはいかがでしょうか。

則竹●ドラムっていうのはゴールのない、深みのある楽器で、理想は常に先にあるわけです。僕は今でもグリップで悩んでいたりしますし。ですからドラムは、あまり急

がずに、ゆっくりと

長くやってほしいで

すね。僕にとって、

重要なのは朝起きて

「今日もドラムが

叩きたい」って思える

かどうかが重要な

んですよ。あとは自分

と向き合って、音楽

と一緒に演奏する

仲間と心を通い

合わせることを大

切にする。最近はそのために、僕にはドラムが与えられ

たんだな、って思うようになりました。



Information



T-SQUARE SUPER BAND/
Wonderful Days
ICL-1953 (初回盤)



■T-SQUARE SUPER BAND

安藤 正容(G)/伊東 たけし(Sax)/
和泉 宏隆(P)/田中 豊雪(Ba)/則竹 裕之(Ds)
須藤 満(Ba)/宮崎 隆陸(Sax)/
河野 啓三(Key)/坂東 慧(Ds)

T-SQUARE 30th Anniversary Concert 2008 “野音であそぶ”

T-SQUARE SUPER BAND
THE SQUARE×T-SQUARE~since1978
新旧メンバーによる30年に1度だけの
スーパーなスペシャルコンサート!!
9月27日(土) 東京・日比谷野外音楽堂
開場17:00/開演18:00

Instruments

パーチカスタム アブソリュート
メーカー希望小売価格329,910円(税込)
※シエルのみの価格



則竹裕之シグネチャーモデル
BSD1455HN

メーカー希望小売価格 61,950円(税込)
14"×5 1/2" パーチシエルのスネアドラム。

則竹裕之シグネチャースティック
YCSHN

メーカー希望小売価格 1,575円(税込)





このPacificaはもう10年以上も弾き続けている、僕の分身なんだ。

1981年、マイルス・デイヴィス・バンドでシーンに彗星のごとくあらわれ、その後ジャコ・パストリアス、ステップス・アヘッド、ブレッカー・ブラザーズなど最もコンテンポラリーなジャズの最先端でギターを弾き続けてきたマイク・スターン。今回はランディ・ブレッカー (tp) を自己のバンドに迎えての来日公演の合間をキャッチし、バンドのこと、そして愛用のシングネーチャモデル Pacifica 1511MS について聞いた。

MIKE STERN PLAYS Pacifica 1511MS



ランディが僕の曲を吹いているんだよ、素晴らしいだろ?

■今回来日のマイク・スターン・バンドは凄いメンバーですね。

●本当にグレートなバンドだよ。ドラムのデイヴ・ウェツクルは、僕が世界で一番好きなドラマーの1人。今回の日本のステージではヤマハの新しいドラムを試しているようだけど、パンチがすごく効いているんだ。素晴らしい音だよ。ベースのクリス・ミン・ドーキも大好きなベースプレイヤーで、ヤツのベースは本当に凄い。彼のサイレントベースは、アコースティックベースより音が良いかもしれない。そしてトランペットはランディ・ブレッカー。ランディは「スペシャル」だ。ランディの音は信じられないほど美しい。再結成したブレッカー・ブラザーズのギタリストとしてランディと演奏したことはあるけど、



ど、ランディが僕の曲をプレイするのは初めてなんだ。だから本当に嬉しい新鮮な体験だ。

■ランディ・ブレッカーはプレイヤーとしてだけでなくコンポーザーとしても素晴らしいですね。

●彼は美しい曲を書く偉大な作曲家でもある。独自のハーモニーを使ってオリジナルなスタイルを築いていると思う。今「サム・スカンク・ファンク」(ブレッカー・ブラザーズの代表曲)を練習してんだよ。昔ブレッカー・ブラザーズでプレイした時はランディとマイケル(ブレッカー)をメロディー吹いていたから僕はコードを弾いていれば良かった。だけど、今回のライブではランディと僕がユニゾンでメロディーを弾いてるんだよ、コードも弾きながらね。これが難しいんだ。こんな風にね(凄く速さで実演!)イエー!難しいぜー。……練習しないと。とにかくランディと一緒にプレイするというんなことを勉強できるよ。彼は時々マイルスを髣髴とさせるようなプレイをすることもあるんだよ。

マイルスに言われたんだ、「ジミみたいに弾け!」って

■マイルス・デイヴィスのグループでは長くプレイしていたんですね。

●マイルスとは4年ぐらいプレイしたよ。当時は太っていたんだけど、マイルスは僕のタイムフィールが気に入って、いつも僕を「ファット・タイム」って呼んでいたよ。「Fat-time, What's Happening Mother-fucker!」(しゃがれたマイルスの声色で)って風にね。マイルスの『The Man with the Horn』というアルバムに「ファット・タイム」って曲が入っているけど、僕はその曲で長いギターソロを弾いて、マイルスは僕のソロが気に入ったから、ニックネームを曲名にしてくれたんだ。

入って、いつも僕を「ファット・タイム」って呼んでいたよ。「Fat-time, What's Happening Mother-fucker!」(しゃがれたマイルスの声色で)って風にね。マイルスの『The Man with the Horn』というアルバムに「ファット・タイム」って曲が入っているけど、僕はその曲で長いギターソロを弾いて、マイルスは僕のソロが気に入ったから、ニックネームを曲名にしてくれたんだ。

■マイルス・デイヴィスの言葉で印象に残ったものは。

●うーん、マイルスからは言葉よりも彼のプレイや音楽そのものから、多くを学んだ気がする。彼は每晚、いつも心を込めてプレイしていたよ。ミスなんて問題じゃない、テクニクよりハートがいかに大切かということを学んだんだ。マイルスは多くを語らなかつたけど、「もっとロックっぽくやれ! ジミ・ヘンドリクスみたいに!」って言われたのを覚えているな。マイルスはジミが大好きだったんだ。でも、彼はいつも僕に自分らしいプレイをさせてくれたよ。



■ほかにも多くの偉大なジャズマンたちと共演していますね。

●マイルスだけでなく、ジャコ・パストリアス、ブレッカー・ブラザーズ、ジョー・ヘンダーソン、ジミー・コブ、ジョージ・コールマン。偉大なプレイヤーたちとプレイできていい経験ができた。こんな人々とプレイできて僕は幸せだと思うよ。

ロックとジャズ、その両方がミックスされたのが僕のスタイル

■あなたのプレイはロック的な側面とジャズ的な側面と両方があるように思います。

●ギターをはじめて頃、ブルースやロックに夢中だったよ。ジミ・ヘンドリクス、B.B.キング、パディー・ガイ。その後、ジャズを聴くようになってからはウェス・モンゴメリー、ジム・ホール。さらにホーンプレイヤーたち、たとえばマイルスやソニー・ロリンズ、ジョン・コルトレンからも学んだ。ホーンのソロはよく採譜して勉強したよ。でもジャズを聴き始めてもロックのフィーリングは忘れなかった。そんなすべてミックスされて、いまの僕のギタースタイルがあるんだ。ロックやブルースが好きなのが僕の音楽がきっかけでジャズを聴くようになった、という話はよく聞くんだけど、これはとても嬉しいことだね。



このギターはソリッドボディなのに音がたくウォームなサウンドが出る

■Pacifica 1511MS (マイク・スターンモデル) について聞かせてください。

●このギターは、もう10年以上使ってるんだ。レコーディングでも使ってるけど、ステージでは100%このギターだね。まさに自分の分身なんだよ。ボディに重い材を使っているから、ソリッド・ボディと思えないくらい音がたくウォームだ。でもネックはメイプルだからレスポンスはとても速い。ピックアップはSeymore Duncanで、フロントがハムムの59、リアがHot Rails だけど僕は80%位の比率でフロントポジションを使う。特別なエッジがほしいとき、ロックっぽい感じにしたい時はリアに切り替えるんだ。センターポジションはリズムギターの時だね。



■Pacifica 1511MSで気に入っている点は?

●このギターのいい点は多彩な音が1台で出せるところ。ダークな音も、メロウな音も、エッジが立ったロックサウンドも、歯切れのいいリズムサウンドも全部出せる。ラウドなロックバンドも、ソフトなボーカルのバックアップでも使えるんだ。それから、このギターは重たいか



らさ、バンドでドラマーと喧嘩になったとき、ギターで闘うことだってできるよ(笑)。

■今後の予定について教えてください。

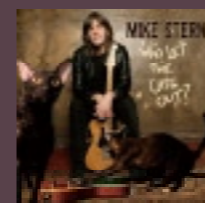
●このあとすぐカナダに行って、それからイエロー・ジャケッツとヨーロッパに行く。イエロー・ジャケッツのニューアルバムには僕がフィーチャリングで入ってるんだ。8月はイエロー・ジャケッツとアメリカ西海岸をツアー。8月末にはイスラエルで行われるジャズ・フェスティバルに出演する。10月、11月は今回のメンバーでヨーロッパをツアーする予定だよ。

■最後に本誌を読んでいるギタリストへアドバイスをお願いします。

●自分の気持ちを思いっきりギターにぶつけて弾きなさい。それが一番大切。それからギターを探しているなら、自分にぴったりと合ったギターが見つかるまで探すこと。僕はヤマハのギターを推薦するよ。ヤマハは低価格帯のギターでも、いい音がしてるからね。



Information



マイク・スターン/フー・レット・ザ・キャッツ・アウト?
UCCT-1167
発売元:ユニバーサル クラシックス&ジャズ



イエロー・ジャケッツ・フィーチャリング・マイク・スターン/
LIFE CYCLE
UCCT-1198
発売元:ユニバーサル クラシックス&ジャズ

Instruments

PACIFICA 1511MS
メーカー希望小売価格
210,000円(税込)



マイクスターンをインスパイアしつづけるパシフィカ。PUはSeymour Duncanピックアップ"59"(フロント)と"ホットレール"(リア)のコンビネーション。